

事例② NPO法人南信州クラブ（長野県飯田市）

事業名：エンジョイ スクエア

【目的】

飯田市・下伊那郡内の中学生を対象に、各種スポーツの試合や記録会を開催し、ゲームを通じてスポーツの楽しさを知ってもらい、令和7年度末までに中学校休日の部活動のスムーズな地域移行につなげる。

生徒を主体とした自主的な活動となるように努め、リーダーやフォロワーとしての資質やコミュニケーション力を育む機会とする。

＜令和5年度実績＞

- ・地域内全中学生を対象とした意向調査
- ・Web申込システムの構築
- ・地域内競技団体と協力体制の確立
- ・15種目で競技の試行実施(2か月)

＜令和6年度計画＞

- ・地域内全中学生を対象とした意向調査
- ・18種目で競技の試行(4か月)
- ・西南部町村をエリアとしたモデル事業を展開。
- ・8年度に中学生となる現小学生も対象。

＜令和7年度計画＞

- ・地区内において意向調査実施
- 21種目で競技の試行(5か月)
- ・地域移行モデルの完成

令和6年度の主な取組

- ・13種目20講座で実施
サッカー、バスケットボール、野球、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、ソフトボール、バドミントン、ラグビー、空手、弓道、陸上
- ・7月、8月、10月、11月、12月の5ヶ月間の土日祝日で実施。20週間
- ・高校の協力を得ながら実施。会場・補助員
- ・北部において中学校に部活動がない種目に参加できる機会を設定する。
- ・令和8年度に中学生となる世代を含め小4～中3を対象とし自分の適性を判断する機会とする。中学生と一緒にゲーム・記録会に楽しんで取組ませる。
- ・令和8年度後半に地域移行が開始される市町村が多いため、その時に新チームとして最上級生となる現中1を対象とした各種目の大会を開催し意識を高める。



【令和7年度末の成果目標】

飯田市・下伊那郡全体の地域移行モデルの確立

- 1) 部活動加入者のうち、中学1・2年生：75%、3年生：40%が参加
- 2) 21種目、参加者：1,200人